# サービスグラント 年次報告書 2014-2015

[2014年4月1日-2015年3月31日]



# 社会参加先進国へ



NPO や地域団体が必要なときにいつでもプロボノを活用できる

学校・自治体・地域などでも プロボノが活躍している

#### **MISSION**

# プロボノを進化させる

- 市民が、自分自身の可能性を最大限に生かして社会参加している
- 企業が、社会課題解決と、自社のメリットとを両立させる方法を見出している
- 行政が、市民の知恵を取り入れ、持続的に改善できる仕組みを備えている
- 誰もが、人の役に立つ喜びを感じられる機会が、すぐそこにある
- 世界中の課題解決手法を取り入れ、常に世界のより良い方法を探し求め続けている

それが、私たちが考える、私たちが目指す、社会参加先進国です。

2005年、サービスグラントは、日本における「プロボノ」のフロンティアとして、産声を上げました。それから約10年が経過し、プロボノは、ビジネスパーソンの社会貢献手法として、着実に浸透しつつあります。

サービスグラントが、この10年間に培ってきたもの。それは単に、プロボノプロジェクトの運営という狭い範囲の個別手法に留まるものではありません。

立場の異なる複数の主体が、共通の目的のもとに協働し、前向きな成果を生み出すに至るまでに、何が求められるのか。どのような知識が求められ、どのような人が力を発揮し、どのような体制を組むことがより確実性を高められ、どのような手順で進めることが効率性を実現でき、どのようなコミュニケーションのスタイルが求められるのか。この普遍的な問いの答えに、私たちの知見は、つながっていくはずです。

サッカーをする人が、ボールがあればだれもが一緒になってプレーを楽しめるように。 音楽を愛する人が、国を超えてアーティストにまつわるエピソードを語り合えるように。

社会課題の解決においても、基本的な考え方や行動様式が社会全体で共有され、そこに集まる人たちが、立場の違いを尊重しながら、当たり前のように協働できる社会。サービスグラントは、日本を、世界を、社会参加先進国にすることを目指して、挑戦を続けます。

# 2014年度の1年間で

73件のプロボノプロジェクトを運営

P6 インパクトある支援を目指して 、



昨年度から+371人増の

**2,384**人のプロボノワーカーが登録



P8 社会にビジネスに役立つ経験を

企業・行政・財団と

43件の協働プロジェクトを実施



P10 広がるパートナーシップ

アジアプロボノラリーTOKYO 2014を アジアの 8 カ国 10団体とともに開催



P12 国際的ネットワークと情報発信

#### 代表メッセージ

サービスグラントは、これまで「do it pro bono.」 という言葉を、団体のスローガンとして長く使って きました。

この言葉は、世界のプロボノをリードし続ける米国 タップルート・ファウンデーションが使っていたタ グラインをそのまま借用させていただいた、いわば 借り物の言葉だったのです。



なんともタイミングが妙なことに、私たちが「do it pro bono」を採用すると間もなく、タップルートはこのメッセージを刷新し、「MAKE IT MATTER」という、実に日本語に訳しづらい言葉へと舵を切りました。

そのときから、いつか「do it pro bono.」を刷新するとき、それが、日本のサービスグラントが次のステージに上がるときだということを意識するようになりました。

新しいスローガン「社会参加先進国へ」を打ち出すことについて、自分のなかにも躊躇する気持ち、本当にこの言葉を打ち出してしまってよいのだろうか、という迷いなども生じました。サービスグラントをよく知る人に意見を求めると「新しい」「次の時代にマッチしている」という声とともに、「怖い」「硬い」といった反応も少なくありませんでした。

それでも、あえてこの言葉を打ち出したのは、これまでの、プロボノをやってみよう、というカジュアル な呼びかけを超えて、日本や世界が直面する課題に対処するための、一人ひとりの行動を喚起するような メッセージを含んでいるからです。

経済先進国といわれ、そして今は、課題先進国といわれている日本ですが、その解決のカギは、私たちー 人ひとりの社会参加にある、と信じています。

そして、問題は、社会参加で数多くの成功体験を生み出す、やりがいや手応えを感じられる社会参加を実 現する、そのための手法であり、行動様式であり、文化が広がることにあるのではないかと思います。

目の前に広がる社会の課題を前に、的確に動くことができる人がどれぐらいいるか。 本当に社会が強いかどうかは、そうした人の網の目が張り巡らされているかどうかによって決まってくる のでしょう。

もはや、サービスグラントだけでは、到底なしえないメッセージを発信してしまいました。 それが、これからのサービスグラントに課した、最大の課題であり、挑戦するに値する目標だと思います。

> 特定非営利活動法人 サービスグラント 代表理事 嵯 峨 生 馬

# 1 | インパクトある支援を目指して

プロジェクト 宝飯件数

73件

39件

長期

短期 34件

# 長期プログラムで39団体を支援

長期プログラムとは、プロボノワーカー5-6人によるチームを編成し、1人につき週5時間を目安に、3-6ヵ月間にわたって支援先の基盤強化につながる成果物を提供するプログラムです。支援先に対して、ウェブサイト、印刷物、事業計画立案などの成果物を提供しており、サービスグラントが活動開始以来続けてきた、定番のプログラムです。

今年度は39件のNPO法人・地域団体・社会起業家等に対して、長期プログラムによるサポートを提供しました。



鳥取県のNPOを応援した「ふるさとプロボノ」の活動風景。

# 短期プロジェクトで34団体を支援

長期間のコミットメントが難しいプロボノワーカーや、まずは一度プロボノによる支援を体験してみたいNPOなどを対象に、比較的軽めの負担で参加できる短期プログラムを導入しています。短期プログラムには、比較的作業ボリュームの小さい成果物を本番わずか1日で実現する「プロボノ1DAYチャレンジ」などがあります。

今年度は34件の団体に対して短期プログラムによるサポートを実施し、長期プログラムの支援と合わせて、幅広い団体の支援を実現しました。



大阪で開催されたプロボノ1DAYチャレンジのひとコマ。

# 支援先ニーズに応える多様なプログラム

長期と短期それぞれのプログラム提供を通じて、サービスグラントが支援するNPOのすそ野は広がりを見せ、支援内容も多様化しています。 短期プログラムでは、団体内部の課題の棚卸や優先順位付けを行う「課題

短期プログラムでは、団体内部の課題の棚卸や優先順位付けを行う「課題整理ワークショップ」や、「Facebook活用」「クラウドファンディング企画」など新規性あるプログラムを取り入れています。

	長期プログラム	短期プログラム	
情報発信	ウェブサイト 印刷物 営業資料 マーケティング基礎調査	Facebook活用 ウェブサイト改善提案 チラシ・ポスター制作 クラウドファンディング企画 営業資料ブラッシュアップ 外国語翻訳	
組織運営	プログラム運営マニュアル 業務フロー設計 寄付管理	クラウドツール活用 税務・経理相談 法務相談	
事業戦略	事業計画立案 事業評価	課題整理ワークショップ スペース活用会議 アンケート活用入門	

## 支援先一覧

2014年度中に、サービスグラントが関わらせていただいた支援先団体の皆さまをご紹介します。

団体名は五十音順で、法人種別を省略させていただきました。 短期プログラムに参加後、長期プログラムで支援した団体は、2団体としてカウントしています。

「東京エリア」「関西エリア」の区別は、プロボノチームを組成した地域によるもので、団体の所在地を示すものではありません。

◆=企業協働プロジェクト ★=行政協働プロジェクト ●=財団協働プロジェクト →詳細は●ページをご覧ください。

	長期フ	゚ログラム	短期プログラム		
東京 エリア	アジア女性資料センター アフタースクール ◆ 学生人材バンク ★ キッズドア ◆ Class for Everyone ◆ グレースケア 芸術資源開発機構 山陰福祉の会 ★ 新日本フィルハーモニー交響楽団 ◆ sweet treat 311 ◆ SPAN スリール ◆ 太陽光発電所ネットワーク	NAGOMI VISIT 日本キリスト教婦人矯風会 日本国際ワークキャンプセンター パラキャン 東松島みらいとし機構 ◆ ピルコン ビルマ市民フォーラム Fine ◆ フェアスタートサポート ボルネオ保全トラストジャパン◆ モンキーマジック ◆ 夢職人 流産・死産経験者で作るポコズママの会	74.0	いいざかサポーターズ・クラブ ◆ 手づくりマルシェ ◆ ふよう土2100 ◆ ふくしま連携復興センター ◆ ビーンズふくしま ◆	
<b>関西</b> エリア	A、MRJHREMINA・ドリーグ東京都中途失聴者・難聴者協会東京自殺防止センター あっとすくーる CAPセンター・JAPAN ◆ こどもコミュニティケア ◆ さをりひろば ◆ 児童虐待防止協会 チャイルドリソースセンター ハーモニィカレッジ ★ ファミリー相談室 フードバンク関西 ◆ 生野区運営委員会 ★ FC岸和田	高十28件 計11件	旭区古市地域活動協議会 ★ 河内長野市高向地域 こころ館 児童虐待防止協会 鶴見区内地域活動協議会★ ブリッジフォービース 港区磯路地域活動協議会 ★ 港区南市岡地域活動協議会 ★	計13件 生駒希望の会★ 生駒の地域医療を育てる会★ アトリエくじらのクー★ いこま婚育プロジェクト★ 生駒市地域ネコ活動連絡協議会★ グリーンボランティア「いこまを図里」★ 市民公益活動団体「ほたる」★ 社会福祉法人 いこま福祉会★ ならゆうし★ ひまわりのつどい★ 夢の会★ ライトフレンズ生駒★ Rainbow Children Japan ★ 計21件	

# 過去支援先を対象に「定点観測2014」を実施

サービスグラント提供先団体のみなさまを対象に、サービスグラントによ るプロボノの効果検証の試みの一環として、定点観測(Webアンケート) を実施しました。「定点観測」という名の通り、団体の組織体制や広報状 況等を伺うアンケートを毎年8月頃に継続して実施していく予定です。ま た、団体のみなさまの、まだ解決していない課題や困難等についても伺い、 サービスグラントのプログラム運営の改善にも活かしていきたいと考えて います。

回答に協力いただいた方へは、定点観測の集計結果概要(図1)、および、 団体別レポート(図2)をお送りしました。今後は、各団体の皆さまが、経 年の変化や活動の道のりを振り返っていただけるようなデータの蓄積にな ればと考えています。



(図1) 定点観測結果概要



# 2 | 社会にビジネスに役立つ経験を

スキル登録者数 **2,384**名 前年比 +371名

# 多様化するプロボノワーカー

サービスグラントにスキル登録をいただいたプロボノワーカーは、2014年度新たに371名を数え、累計登録者数も2,384名に上りました。サービスグラントでは、今後も、ご登録いただいたみなさまにできるだけ多くプロボノへの参加機会をご提供することに挑戦していきます。

ご登録いただいているプロボノワーカーの内訳について次のような傾向が見られます。

#### (1) 社会人年数別

ご登録者の中心は入社5~20年程度の「働き盛り」の世代で、全体の 約半数を占めます。

あわせて、20代の若手社会人のご参加や、50代以上のご登録も広がっており、プロボノのすそ野が着実に広がりを見せています。

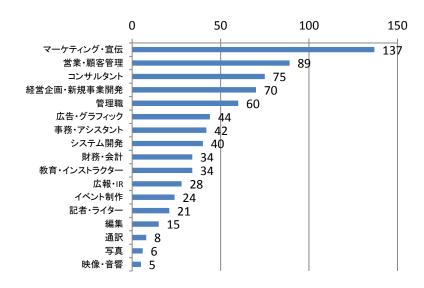
#### (2) 男女別

男女比については、過去数年間ほぼ同じ比率を維持しており、男性の ご登録者の方が6割前後となっています。

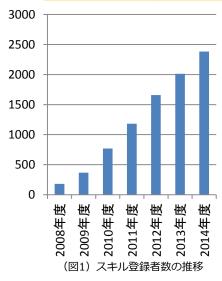
#### (3) 職種

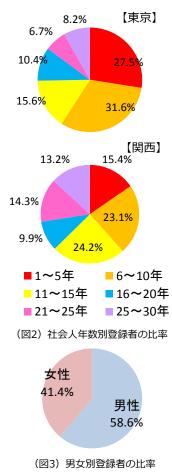
マーケティング関連、営業職に続き、2014年度はコンサルタントや経営企画、新規事業開発などに携わるプロボノワーカーの登録が目立ちました。

その他にも、一般的な事務職から、デザイナーやコピーライターなど のクリエイターに至るまで、幅広い職種の皆様から多数のご登録をい ただいています。



【参考】職種別登録数(2013年度) ※複数回答あり





## 「インターナル・ボランティア」による新たな挑戦

長年にわたるプロボノプログラムの実践を通じて、数多くのプロボノワーカーにご参加をいただきました。その中から、サービスグラント自体の運営にコミットする「インターナル・ボランティア」の活躍が見られるようになってきました。

「インターナル・ボランティア」(以下、IV)とは、文字通り"内部"に入り込んだ存在として、一般的なプロボノワーカーとして参加する以上に、サービスグラントの活動自体に積極的に関わり、企画や運営を担うメンバーのことです。

IVの起源は、大阪で立ち上がった、通称"裏ボノ団"です。大阪で毎月定期的に開催されている「プロボノWednesday」は、企画・運営を裏ボノ団をはじめとするプロボノワーカーが中心となって行っています。

2015年初頭に東京で立ち上がったIVの集いは、プロボノワーカー説明会の運営協力や、ワーカー同士の勉強会・交流会などを通じて成熟し、一定のオフィシャルな性質を持つ「エグゼクティブパートナー」へと発展しようとしています。

プロボノワーカーがプロボノプロジェクトを運営する、そんな仕組みづくりに向けて、サービスグラントはこの先も進化していきます。

# コラム: フランスに学ぶ、インターナル・ボランティアによるプロボノ運営

世界各地でプロボノの様々な取り組みが行われているなかで、インターナル・ボランティアが大きな力を発揮しているのが、フランスで活動するプロボノの中間支援組織 Passerelles et Competences (パスレユ・エ・コンペタンス。以下、P&C) の事例です。

パリに本部を置くP&Cは、フランス国内20都市に支部を持ち、5,000人のプロボノワーカーが登録、年間約500件に及ぶ支援先とプロボノワーカーとのマッチングを実現しています。

この運営を支えているのが、インターナル・ボランティアのみなさん。P&Cには300人以上のインターナル・ボランティアがおり、彼らは無償でプロボノのマッチングをする支部の運営に取り組んでいます。その中には若い人も多数いますが、中心メンバーの多くが老後の年金生活者たち。ビジネスの経験を生かして、プロボノのコーディネートをすることに生きがいを見出だしているそうです。

P&Cは、パリの本部を拠点に、IVに対して研修やシステム提供を行い、フランス全土でプロボノのムーブメントを広げています。支部の運営方法はもちろん、本部と支部の役割を含め、興味深い運営モデルとなっています。



P&Cのホームページでは、フランス各地で行われているプロボノ支援の状況を検索することができます。

http://www.passerellesetcompetences.org/



P&Cの創設者 パトリック・ベルトラン氏

# 3 | 広がるパートナーシップ

プロジェクト **43**件 企業 20件 行政 21件 財団 2件

# 【1】企業との協働

サービスグラントでは、企業のCSR・社会貢献の方向性や、社員の皆さまの経験・スキル、支援先NPOのニーズ等を踏まえて、企業の特性が活かされるプロボノプログラムの運営サポートを行っています。

【協働パートナー企業のご紹介】 (※掲載順は、協働開始時期の順です。敬称は略させていただきます。)

# 日本電気株式会社(NEC)

社会起業家を対象に、社員がプロボノによる支援を行う「NECプロボノイニシアティブ(旧:NEC社会起業塾ビジネスサポーター)」の第5期が行われました。今期はNPO法人株式会社、被災地で活動する一般社団法人、と様々な法人格で活動している社会起業家を支援。スリール株式会社に対しては、中小企業診断士の資格を有する社員を中心にプロボノチームを編成し、マーケティング基礎調査プロジェクトを展開しました。

# パナソニック株式会社

2014年度は、関西で2件、東京で1件の長期プログラムに加え、被災地支援として福島県内で復興支援活動に取り組む5団体を応援する1泊2日の短期型プロボノにも取り組みました。また、プロボノウィーク期間中には、プロボノプロジェクトの最新事例等を紹介するイベント「プロボノフォーラム」を、東京・大阪の2地域で開催しました。

# 株式会社三井住友フィナンシャルグループ

三井住友銀行単体による取り組みから、今年度は、三井住友フィナンシャルグループの枠組みに拡大し、グループ企業各社の垣根を超えたチームによるプロボノプロジェクトを開始しました。認定NPO法人の取得を目指すNPO法人を対象に、寄付管理支援プログラムを通じて、東京2団体・大阪1団体の計3団体を支援しました。

# 日本マイクロソフト株式会社

より広く多くの社員参加を促すために、マーケティングを中心とした取り組みやすいプログラムに変更しました。3団体の支援に対して社員16名が参加し、これまで以上に内容の濃い、充実した成果を得ることが出来、NPO、社員双方から高い満足度が得られました。引き続き社員の社会貢献活動への関心を高める取り組みを強化していく予定です。

# ジョンソン・エンド・ジョンソン 社会貢献委員会

支援団体との関係性強化、社員の社会貢献活動へのコミットメント向上のための手段として、プロボノの活用を検討しています。7月に行われたワークショップでは、3団体の支援に対して社員16名が参加しました。一部チームにおいては、ワークショップ終了後も引き続き支援することが決まりました。

# 三菱商事株式会社

前年度のトライアルから次年度以降の本格導入に向けた検証プロジェクトを実施しました。支援先1事業者に対しパンフレット制作を行い、支援先からは営業ツールと活用できるとの評価をいただきました。プロジェクトの実施検証により、次年度以降、同社における社会貢献活動により適合するよう検討し、導入に向けて準備を進めています。

# 【2】行政・中間支援組織との協働

## 大阪市「大阪ホームタウンプロボノー

大阪市コミュニティ協会と協働し、地域づくり活動に取り組む地域活動協議会を支援する「大阪ホームタウンプロボノ」を運営しています。

長期プロジェクトとして、鶴見区では地域活動におけるアンケート活用策の検討、生野区・生野地区運営委員会による地域情報の発信に関するマーケティング基礎調査を実施しました。

短期プログラム「プロボノ1DAYチャレンジ」では、港区(2件)、旭区(1件)の団体を支援し、地域と社会人との新しい繋がりを創出しました。



地域のおもちつき大会に参加し、活動に関するヒアリングを実施

# 奈良県生駒市「生駒プロボノマラソン」

生駒市が運営する市民活動推進センター「ららポート」と連携して、奈良 県生駒市内で活動する市民団体を支援する「生駒プロボノマラソン」を実 施しました。

31名のプロボノワーカーが13団体を支援。本番当日は、活気ある取り組みが会場で繰り広げられました。

# 鳥取県「ふるさとプロボノ in 鳥取」

公益財団法人とっとり県民活動活性化センターとサービスグラントが連携し、東京・大阪で編成したプロボノチームによる遠隔地支援型プロボノプロジェクト「ふるさとプロボノ」を実施しました。2014年度は東京から2チーム、大阪から1チームが参加し、鳥取県内の3団体を支援しました。また、ふるさとプロボノの実施に先立って、とっとり県民活動活性化センターからスタッフ1名をサービスグラント事務局で受け入れ、プロボノコーディネート人材研修を実施。プロボノプロジェクトの運営に関する基礎的な手法・技術に関する研修を行いました。



生駒プロボノマラソンは、2014年9月 13日に開催された。

# 【3】財団との協働

# 日本財団「夢の貯金箱」プロジェクト企画・運営

ドリンク1本につき10円が寄付となる、日本財団の社会貢献自動販売機「夢の貯金箱」。その寄付金とプロボノを組み合わせて活用し、社会課題を解決していくという初の試み、「ミッションドリブンプロジェクト」の企画・運営に日本財団様と協働で取り組みました。

解決すべき社会課題とミッションを寄付者の皆様に選んでいただく「第1回ゆめちょ総選挙2014」を実施し(総選挙実施は前年度)、投票により「いじめ自殺をSTOP!!」「災害現場にもっと市民の力を!」「障害者を一流のショコラティエに!」の3つのミッションを決定。各ミッションの実現に向け、プロジェクトデザインに取り組みました。

各ミッションについて、目標実現に向けた具体的なプロセスやステップを明確化。企画から携わり、全面リニューアルした「夢の貯金箱」ウェブサイト上において、事業の進捗状況や成果を目に見える形でレポートしています。本事業は2015年度も新しくミッションを追加し、継続していきます。



# 5 | 国際的ネットワークと情報発信

# アジア・プロボノラリー TOKYO 2014

2014年10月27日~29日

アジア各地でプロボノ運営を行う団体を呼びかけ、東京・渋谷にてアジア・プロボノ・ラリーを開催しました。それぞれの国・地域で取り組まれている活動について、様々な情報、事例、実施モデル等を共有し、プロボノの最先端の動きを発信する様々なプログラムを行い、最終日には、アジア各地の市民社会に大きなインパクトを与えるプロボノの中間支援団体をめざし、「東京宣言2014」を行いました。

詳細はこちらからご覧いただけます:

http://www.servicegrant.or.jp/pbrally2014/



アジア・プロボノラリー TOKYO 2014 プロボノ運営団体9団体が渋谷に集結しました。

# グローバル・プロボノサミット 2015

2015年2月24日~27日

ドイツ・ベルリンで開催された、第3回グローバル・プロボノサミットに参加しました。今回は過去最多である23カ国約30団体が参加。初参加の団体も少なくなく、国際的なプロボノ・ムーブメントの広がりが感じられました。

サミットは、プロボノ発祥団体であるTaproot Foundationと世界中のプロボノ・ムーブメントのサポートを目指すBMW Foundationの共催で運営されており、プロボノコーディネート団体だけではなくグローバル企業担当者やLinkedinなどのパートナーも参加しています。今回は参加者の多様性を受けてか、各地域でのプロボノ運営事例を学び合いながら、さらなる推進を実現させるアイディアや施策について多方面から議論できるようなセッションが多数プログラムされていました。プロボノプロジェクトの飛躍的な展開を目指して、プロボノワーカー自らによるプロジェクト運営やリモートによる支援の試み等、意欲的な実践事例を学べたことは大きな収穫となりました



第3回グローバル・プロボノサミット2015は、ドイツ・ベルリンにて開催されました。

# 国際的プロボノキャンペーン「プロボノウィーク」に参加

プロボノウィークとは、世界各地でプロボノに関するイベントやセミナー等を集中開催し、プロボノに対する社会的関心を高めるグローバル・キャンペーンです。2013年に続き、プロボノウィークに参加。期間中、プロボノフォーラムをはじめ各種イベントを集中開催しました。

さらに、プロボノウィーク終了直後に、アジア各国のプロボノ運営団体が東京に集 うイベント「アジア・プロボノラリー 2014」を開催しました。



# プロボノフォーラムTOKYO OSAKA 2014 2014年10月18日 · 21日

プロボノを実体験したプロボノワーカーやNPOによる事例発表を中心に、プロボノの魅力や醍醐味を伝える「プロボノフォーラム」。2009年の第1回以来毎年開催しており、2014年度は大阪・東京の2地域で連続開催しました。

大阪は大阪駅前のグランフロントSHIPSホール、東京は渋谷・ヒカリエにて開催。 体温の高い発表内容に、会場は熱気に包まれました。



大阪のフォーラムでは、当日日中開催された、プロボノ1DAYチャレンジの成果報告が行われました。

## メディア掲載一覧

# ◆神奈川新聞 2015年3月8日 ◆毎日新聞 2015年2月2日 ◆日本経済新聞 2014年12月18日 新聞 ◆SANKEI EXPRESS EX 2014年11月14日 ◆京都新聞 2014年11月7日 ◆埼玉新聞 2014年9月2日 ラジオ ◆J-WAVE TOKYO MORNING RADIO 2015年1月29日放送 ◆繊研新聞 2015年2月3日 ◆ソトコト 2015年2月号 2015年1月5日 ◆繊研新聞 2014年12月16日 ◆金融 2014年11月 ◆Precious プレシャス11月号 2014年10月7日 ◆週刊経団連タイムス 2014年10月2日 ◆AERA 2014年9月29日 ◆OZ plus9月号 2014年7月28日 ◆繊研新聞 2014年7月22日 ◆地域は消えない コミュニティ再生の現場から 書籍 P225 コラム プロボノ サービスグラントにて紹介 編 岡崎昌之 発行 日本経済評論社

# 講演実績

# ◆ファンドレイジングジャパン2015 2015年2月12日 ◆アーツカウンシル東京 2015年1月20日 ◆宮城県NPO支援センタースタッフ研修 2014年12月3日 ◆専修大学KSアカデミー(全3回) 2014年11月27日~12月11日 ◆SESNET「Pro Bono Big Day」(韓国・ソウル) 2014年11月19日 ◆京都府フォーラム「きょうとプロボノ元年」 2014年11月10日 ◆Good Over 50s シンポジウム 2014年11月3日 ◆さいたま市プロボノ活動推進プロジェクト セミナー2014年8月23日 ◆内閣府 共助社会づくりのための懇談会 2014年6月20日

◆慶応大学 文明塾会 講演 2014年4月12日

◆法政大学大学院経営学研究科 講義 2014年5月26日

#### ▼毎日新聞 2015.2.2



#### ▼繊研新聞 2015.2.3



海外で活躍する人材育成に活用

A CONTROLLED TO THE PROPERTY OF THE PROPERTY O

#### ▼週刊経団連タイムス 2014.10.2



科 目 経常収益	金額		(単位:円)
1 受取会費			
正会員受取会費	20,000	20,000	
2 受取寄付金		=0,000	
受取寄付金	322.612	322,612	
3 事業収益			
サービスグラントの提供を通じたNPO等支援事業	1,430,635		
企業・行政等との連携によるプロボノプログラムの運営事業	38,073,513		
プロボノプログラムの運営を担う人材育成事業	446,000		
プロボノの普及・広報・社会的制度化に関する事業	1,558,330		
		44 500 470	
その他目的を達成するために必要な事業	0	41,508,478	
4 その他収益	2 700		
受取利息	2,708	2,708	44.052
経常収益計			41,853,7
経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	10,650,118		
人件費計	10,650,118		
(2)その他経費			
外注費	11,125,952		
会議費	430,791		
交際費	536,671		
旅費交通費	4,175,139		
通信運搬費	230,467		
消耗品費	259,210		
新聞図書費	23,203		
印刷製本費	400,035		
租税公課	21,450		
支払手数料	642,749		
その他経費計	17,845,667		
事業費計	27,70 10,700	28,495,785	
2 管理費		20,130,700	
(1)人件費			
役員報酬	2,988,000		
賞与	698,601		
法定福利費	1,648,285		
福利厚生費	64,020		
人件費計	5,398,906		
(2)その他経費	3,330,300		
広告宣伝費 広告宣伝費	168,000		
会議費	······		
	30,012		
	11,159		
旅費交通費 	280,378		
通信運搬費	189,638		
消耗品費	406,086		
印刷製本費	24,690		
新聞図書費	3,412		
支払手数料 支払手数料	973,994		
地代家賃	2,436,272		
	88,200		
保険料	12,000		
租税公課	1,040,500		
その他経費計	5,664,341		
管理費計 		11,063,247	
経常費用計			39,559,
税引前当期正味財産増減額			2,294,
法人税、住民税及び事業税			323,
当期正味財産増減額			1,971,
前期繰越正味財産額			2,066,
<b>次期繰越</b> 正味財産額			4,037,

# 7 | 役員・スタッフ紹介

#### 事務局所在地

#### 東京事務局(団体本部)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-6-3-502 TEL 03-6419-4021 FAX 03-6419-3885

#### 関西事務局

〒541-0055 大阪市中央区船場中央1-3-2-302 船場センタービル2号館3階 (大阪市コミュニティ協会大阪都市コミュニティ研究室内) TEL 06-6210-4832 FAX 06-6125-3315

## 役員

#### 理事

生駒 芳子 川渕 恵理子 嵯峨 生馬(代表) 中野 宗

#### 監事

吉岡 直樹

#### 特別顧問

奥山 俊一

# スタッフ

#### 東京事務局

#### 関西事務局

中村 理恵 堀 久仁子

# 賛助会員のご案内

この報告書でも掲載している通り、サービスグラントでは、企業・行政・財団との協働プロジェクトを通じて、プロボノの展開とともに、団体の財政基盤を確保しながら活動を続けています。

しかしながら、この報告書に記載したプロジェクト総数73件のうち、41%に相当する30件は、特に財政的な裏付けはありませんが、社会課題解決に寄与するNPOの支援につながるという判断から、プロボノプロジェクトの立ち上げ・運営を行っています。

こうした自主事業を支える仕組みが賛助会員です。

サービスグラントによるプロボノを通じて、支援先となるNPO・ソーシャルセクターにインパクトのある支援を提供することを、ぜひみなさまに応援していただけたら幸いです。

賛助会費は、**1口3,000円/年**から。

お支払いは、クレジットカードで受け付けています。

なお、サービスグラントでは、寄付者の皆様に寄付金額の一部が税額控除が受けられる「認定NPO法人」の取得を目指し、現在「仮認定」のステータスを取得しており、認定NPO法人と同様、寄付額のおよそ4割程度の金額を税額控除が受けられます。

▼詳しくは、こちらのページをご覧ください。 http://servicegrant.or.jp/aboutus/support.php

